

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 ぎふ木育全県展開推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 木育推進係 電話番号：058-272-1111(内4346)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,253 千円 (前年度予算額： 9,253 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,253	0	0	0	0	0	9,253	0	0
要求額	11,253	0	0	0	0	0	11,253	0	0
決定額	11,253	0	0	0	0	0	11,253	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け体験・学習活動などソフト面の充実に取り組むとともに、「ぎふ木育」の拠点施設となる「ぎふ木遊館」及び「森林総合教育センター(morinos)」を令和2年度に整備した。

今後は、「ぎふ木育」を県全体に広く普及させるため、各地域が抱える課題を整理し行政への要望などを議論するネットワークの構築、「ぎふ木育ひろば」や地域で独自に活動する指導者との連携強化などを実施する必要がある。

(2) 事業内容

①新たな資格制度の導入

地域における「ぎふ木育」をコーディネートする「ぎふ木育コーディネーター」を委嘱するとともに、「ぎふ木育指導員養成講座」を実施する。

②ぎふ木育指導者等ネットワーク推進

地域で活動する木育・森林環境教育の指導者等の交流会や指導者等を集めた地域連絡会議を開催する。地域連絡会議の代表者が一堂に会する連絡協議会を開催する。

③ぎふ木遊館・森林総合教育センター(morinos)・ぎふ木育ひろば連携強化

ぎふ木遊館と森林総合教育センターの連携プログラム及び「ぎふ木育ひろば」向け木育プログラムの開発や「ぎふ木育ひろば」の活動に対する補助等を行う。

④「ぎふ木育指導者」の派遣に向けた調査等

公立青少年施設等へ「ぎふ木育指導者」を派遣し、施設を利用する小中学生に対し、ぎふ木育プログラムの体験機会を設けるための調査等を行う。

⑤木育プログラム等の開発支援

各地域の自然、伝統、木の文化を背景とした地域独自の木育・森林教育プログラム等の開発を支援する。

⑥第10回「山の日」記念全国大会に係る「ぎふ木育」の普及

8月に高山市内で開催される第10回「山の日」記念全国大会において、「ぎふ木育」を普及するため、体験ブースを設置する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「ぎふ木育」の発展に寄与することから、県負担とする。

- ・ぎふ木育ひろばが企画・提案する活動に係る経費補助

補助率：10/10以内（上限：100千円／施設）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,415	委員報償費
旅費	1,315	委員費用弁償及び業務旅費
需用費	481	会議費、プログラム作成に係る消耗品費、印刷製本費
役務費	178	保険料、郵送料、電話料
委託料	6,571	コーディネーターへの委託費、地域版木育プログラム等の開発支援
補助金	1,000	ぎふ木育ひろばの活動支援
使用料及び賃借料	293	会場等借上
合計	11,253	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1-2 りふ木育30年ビジョンの実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

(2) 国・他県の状況

同様の事業は国に無い。

(3) 後年度の財政負担

清流の国ぎふ森林・環境基金の課税期間である令和8年度まで、税収に応じ事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、県が実施することが妥当。

補助事業については、ぎふ木育ひろば認定施設における活動の活性化に要する経費を支援する制度。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふ木育全県展開推進事業事業
補助事業者（団体）	ぎふ木育ひろば認定施設 （理由） ぎふ木育ひろばの活動活性化を支援するものであるため。
補助事業の概要	（目的） ぎふ木育ひろばの活動を活性化させ、県民への「ぎふ木育」の浸透を図る。 （内容） ぎふ木育ひろばが企画・提案する活動について、県が内容を審査し、予算内において補助。
補助率・補助単価等	定額 （内容） 10/10以内（上限：100千円） （理由） 県民に対し「ぎふ木育」を普及するための施設であるため。
補助効果	「ぎふ木育」が各地域の県民に浸透
終期の設定	終期：令和8年度 （理由） 第4期岐阜県森林づくり基本計画及び第3期清流の国ぎふ森林・環境税の終期に合わせ、事業継続を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

令和8年度までの4年間で40施設の活動を支援し、県内各地のぎふ木育ひろばにおける「ぎふ木育」の取組みを推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①施設数(累計)	—	8	7	10	40	—

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	—	691	535

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	通常の木育教室で実施されない、木のジャングルジム「くむんだー」ワークショップやしめ縄づくりワークショップ等、独自の内容が実施された。
	指標① 目標：10 実績：8 達成率：80 %
令和6年度	通常の木育教室で実施されない、木のジャングルジム「くむんだー」ワークショップやあゆの置物づくりワークショップ等、独自の内容が実施された。
	指標① 目標：10 実績：7 達成率：70%

(事業の評価)

事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	各施設において、独自の「ぎふ木育」の取組みを推進するため、事業の必要性は高い。
事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 1	実績が計画の70%にとどまったが、ぎふ木育指導員や木育サポーターの活躍の場となった。
事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	ぎふ木育ひろばに対し、事業を周知し、活用施設を増やしていく。

(今後の課題)

事業が直面する課題や改善が必要な事項 各ぎふ木育ひろばの活動状況に応じた支援が必要である。

(次年度の方向性)

継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ぎふ木育ひろばにおける活動を活性化させるため、木育プログラムの開発や、人材の育成・活用を進める。
--